

# 大地とつながる家

〔応募者名〕 勤務先名：株式会社清水工務店

勤務先住所：和歌山県東牟婁郡那智勝浦町湯川 377 番地 4 8

連絡先（勤務先） TEL 0735-52-4715 FAX0735-52-5388

## ●地域性への配慮事項

日本でもっとも雨が多いといわれる熊野地方であるため、深い軒と庇により、雨、日射への対策とし、高温多湿でも快適に過ごせるよう、通風計画を重視した。また南海地震等の発生が予想されることもあり、耐震等級 2 を確保している。また、周辺環境から、給湯エネルギーを薪と太陽熱温水器利用とし、給水も谷水を利用している。

## ●作品の概要

和歌山県特産、紀州備長炭の窯元である、ご夫婦と息子さんのための「住まい」である。和歌山県南部、串本町に位置し、都市計画区域外となっている。

敷地面積： 2,104 m<sup>2</sup>・1階床面積： 81.79 m<sup>2</sup>

2階床面積： 38.71 m<sup>2</sup>

の木造在来工法 2階建てである。

ご主人の生業である備長炭の窯が同じ敷地内にあり、職と住が近接している。

## ●作品の特徴

ご主人の生業から、作業しながら、来客をもてなし

たり、食事をする事が多くなるため、土間リビングを中心にプランを構築した。作業の合間に浴室、トイレ等を利用するため、外部から、アクセスの良い位置に配置している。また、大地に近い土間は、来客を招き入れる装置でもある。

エアコンに頼らず、自然換気のみで過ごされたいという思いから、ウィンドキャッチャー、高窓による圧力換気、通風に有利な窓を敷地条件を勘案し、配置している。多雨の地域のため、軒を深くし、雨天でも換気しやすいよう配慮している。

外壁材には、この地域で多用される焼杉板。地元の土を用いた荒壁を裏返し付きで塗り、土間と土壁での蓄熱効果を意図した。屋根、床の断熱には、杉皮由来のフォレストボードを使用。内装の板材は、紀州の杉。造作材は、まる引きした板材を棟梁が建具材も含めて、木取りし、無駄なく使用している。壁仕上げは珪藻土塗りである。構造材も紀州の杉・檜の天然乾燥材を使用し、手刻みで木組みしている。基礎も布基礎を東立て風に配し、床下の通風に配慮し、コンクリート量を

削減している。

設備としては、山間の地域のため谷水を利用し、給湯は太陽熱温水器から薪ボイラー、補助的にガスボイラーを配し、可能な限り、化石エネルギーに頼らないシステムとした。室内の暖房には、薪ボイラーからの温水床暖房を土間に埋め込み、杉、檜の端材の入手が容易なため、国産の杉、檜の使用可能な薪ストーブを選択した。

自然と滑らかに連続することを意図して、デッキは大きく、床との段差も少なくした。吊バルコニーを採用し、外観をシャープに引き締めた。2階の各室は、可変性を持たせ、将来に対応している。また、各部屋の窓からは、周囲の緑が常に目に入り、四季のうつろいを感じられる。

出来るだけ、環境に負荷をかけず、自然に選る材料を使いながら、自然と寄り添い、対峙することなく、シンプルに大地とともにありたいと願うご家族の「想い」とともに、人と一緒に味わいを増していけるような「住まい」になった。



SOUTH ELEVATION      WEST ELEVATION

### 住まいの環境効率 (BEE ランク&チャート)



環境品質 C (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

Score: 3.6 (A+)







1. 吊りバルコニーとデッキ
2. 太陽熱温水器と薪ボイラー
3. 紀州備長炭の窯出し
4. 人を招き入れる土間リビング
5. 緑を楽しむ可変性のある間取り

その他、LED電球を多用し、消費電力の低減を図っている